# <sup>様式2</sup> 輸出事業計画

※申請者名:有限会社大崎農園、品目:だいこん

# 1. 輸出における現状と課題

## 現状

- ・有限会社大崎農園は、だいこんやキャベツを主体とした露地野菜栽培 と葉ねぎの施設栽培を行っており、栽培延べ面積は130haを超える。
- ・土作りを中心とした環境に優しい農業に取り組み、2015年には「GLOBALG.A.P.」を取得した。
- ・2020年からだいこんの輸出に取り組んでおり、輸出先は香港、シンガポール、タイを中心とした東南アジアが主である。

# 課題

- (1) 生産技術
  - ・輸出先の規制やニーズに適応した栽培技術の確立がなされていない。
  - ・輸出野菜の生産コストが明確でなく商談時の参考となるデータがない。
- (2)流通
  - ・生産量の増加に伴い輸出用の予冷処理に支障が出てきている。
  - ・長期輸送に伴う梱包資材の強度低下が懸念される。
- (3)販売
  - ・海外でのだいこんの調理法があまり知られていない。
  - ・自社開発商品「千切り大根」の販路開拓がなされていない。

# 2. 輸出事業計画の取組内容

## 取組内容

- (1) 生産技術の確立
  - ・輸出先国の規制に対応した防除技術体系の検討
  - ・海外ニーズに適応した商品づくりのための品種、作式等の検討
  - ・輸出向け生産コストの把握による適正な再生産価格の設定
- (2) 流通体系の改善
  - ・安定供給のための予冷施設の拡充
  - ・長期輸送に耐えうる梱包資材・方法の検討
- (3)消費拡大活動
  - ・リーフレット等を活用しただいこんの食べ方・調理法の周知
  - ・千切りダイコンの販路開拓に向けた市場調査・サンプル輸出

# 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

# 実施体制

## グローバル産地づくり会議

#### 大崎町

- ·事業実施、評価支援
- ・農地に関する助言

### 曽於畑かんセンター

- •栽培技術実証支援
- 収益性検討支援

技術支援事業運営支援

### 大崎農園(委託生産者含む)

- 安心安全な農産物生産
- ・輸出に対応した技術開発
- •収益性検討
- 適正な作業工程管理確立

商流支援 マーケティング情報提供

・産地づくり会議運営

助言報提供

#### 鹿児島県農政部

- ・輸出国における検疫情報提供
- ·新規品目検討支援

## 県大隅加工技術研究センター

·流通体系検討助言

#### ジェトロ鹿児島

・海外マーケット情報提供

### (一社)全国植物検疫協会

•植物検疫情報提供

### 国内輸出商社

- · 商流支援
- ·新規品目拡大支援

## 海外小売店

- 輸出国での販売情報提供
- ・消費地ニーズ把握支援

# 4. 輸出目標額

# だいこんの輸出目標

	現状 (令和2年度)	目標 (令和6年度)
輸出額(千円)	9,040	2 1,0 0 0
輸出量(t)	1 1 3	3 0 0
輸出先国	シンガポール、タイ、香港、 台湾	シンガポール、タイ、香港、 台湾